

明石市

国際協力海外レポート

片山 真以子(カタヤマ マイコ) (JICA 海外協力隊)

赴任地:ジブチ共和国ジブチ市

職種:コミュニティ開発

赴任期間:2019年12月~2020年3月 2023年1月~2024年3月(予定)



新型コロナウイルス感染拡大により、2020年3月中旬にジブチより緊急一時帰国しましたが、2023年1月より再赴任することとなりました。

今回は、3年前と比較したジブチの状況、国際女性デー(3月8日)、これから行う活動について紹介したいと思います。

①3年前と比較したジブチの状況について

3年前は首都中心部のバス乗り場に屋根がなかったが、今は屋根があり、柱にUSB差込口がありスマートフォンを充電できるようになっていました。



2019年



2023年

デリバリーサービス

日本では新型コロナウイルス感染拡大に伴い、Uber Eats・出前館といったデリバリーサービスが急激にシェアを拡大しましたが、任国ジブチでも現在はKiKidropと言うデリバリーサービスがあります。

(送料:1件500djf(均一) 支払方法:現金のみ(ドライバーへ送料を含めて支払))



QRコード決済

3年前までは多くの店が現金支払いのみで、一部海外スーパーなどでしかクレジットカード決済はできませんでした。今は各銀行がQRコード決済(CAC Pay等)を導入し、電話代(クレジット購入)、電気・水道料金の支払い、スーパーなど多くの施設でのQRコード決済が可能となりました。

また、首都中心部に新しい商業施設がオープンし、ジブチ初めてのエスカレーターが設置されたり、3年前から少しずつではありますが発展しているようです。

②国際女性デー(3月8日)について

1904年、ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、国連によって1975年に3月8日を「国際女性デー(International Women's Day)」として制定されました。イタリアの「ミモザの日」は有名で、「FESTA DELLA DONNA(フェスタ・デラ・ドンナ=女性の日)」とされ、女性に感謝を込めて、母親や妻、友人、会社の同僚などに愛や幸福の象徴でもあるミモザが贈られています。

なお今年のテーマは「全てをデジタルに:ジェンダー平等のためのイノベーションとテクノロジー」です。

任国(ジブチ)では、盛大な祝賀会、各種イベントや講和会など様々な所でイベントが行われました。配属先では、女性職員だけを集めた祝賀会が催されました。



③これから行う活動について

2023年3月より活動先に配属になりました。配属先は前回と同じ難民・被災者救済公社になります。3年ぶりとなるため、初めの数カ月は配属先の業務を知るため各部署での研修を行う予定です。なお、先日より、難民登録部署での研修が開始されました。

配属先について

ONARS 難民・被災者救済公社 (Office National d' Assistance aux Réfugiés et Sinistrés)

1978年に設立され、「難民」・「移民」・「(災害などの)被災者」救済に係る公共事業を行っています。

主な業務は、難民・移民の受入、管理、保護、国内3か所の難民キャンプの運営、難民支援に関わる国際機関・NGOや教育省等との連携などがあります。

難民支援の内容については、毎年UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)が方針を定め、それに基づき各種団体が協力して支援を行っています。



難民認定されるまで

亡命等して来た人全員に、亡命希望者証明書(Attestation de demandeur d' asile)の発行とUNHCRへのシステム登録が行われます。

難民登録を希望する人は、数回の面談、審査会を経て、難民認定されます。

難民認定された人は、難民として身分証明書が発行されます。

この身分証明書は、仕事に就く際や銀行口座を開く際など一般国民の身分証明書と同様の効力を持ちます。

研修終了後は、配属先の人と一緒に現在行われている業務の更なる効率化に向けた企画、立案、実施等を行っていく予定です。